



< プレスリリース >

2010年5月26日

株式会社 テクノ・システム・リサーチ

URL: www.t-s-r.co.jp

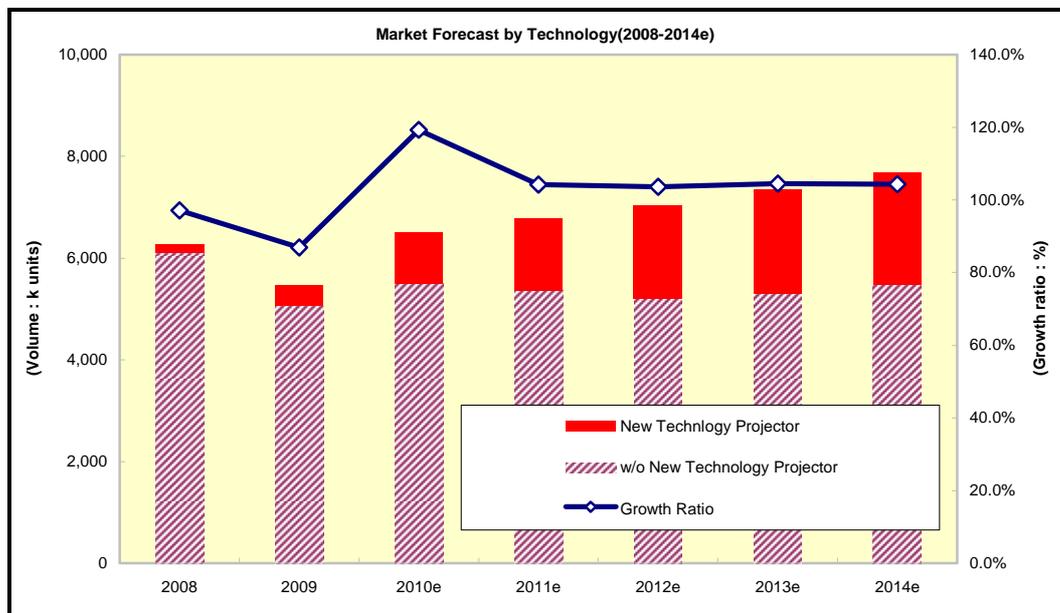
所在地: 東京都千代田区岩本町 3-7-4 TSRビル

代表取締役社長: 藤田 正雄

『プロジェクター市場 第二次成長期へ : グリーン化や 3D 化の実現』

～短焦点/3D(3次元)/新光源(LED/Laser)プロジェクターの最新調査結果を発表～

株式会社 テクノ・システム・リサーチは 2010 年 5 月に発刊しました『Key Devices for Projection Displays 2010』におきまして今後のプロジェクターの付加価値技術となり得る短焦点や 3D、LED や Laser を用いた新光源等、新要素技術を搭載したプロジェクターの市場可能性に関する最新調査結果を発表しました。

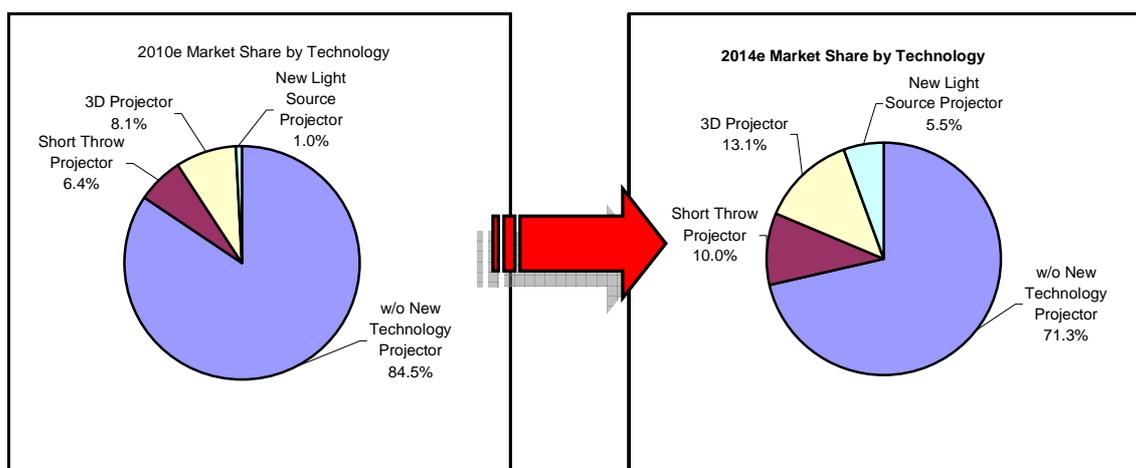


2009 年のプロジェクター市場は数量ベースで約 592 万台、金額ベースで約 6,000 億円の市場を形成しており、2008 年からマイナス成長となりました。昨今、製品単価の下落が著しく、プロジェクターメーカーにおいて新たな付加価値の創出が急務となっております。

TSR では短焦点、3D、新光源(LED、Laser)の3つの要素技術はプロジェクターにおける新たな付加価値技術となり、今後のプロジェクター市場の成長を牽引する可能性が高いとみております。短焦点プロジェクターは現在教育市場での普及が拡大しており、2008年から約2倍の成長をしております。3Dプロジェクターにつきましては2009年から2010年にかけてシネマ市場における需要が高まっており、今後ホーム市場や教育市場への波及効果が期待されております。また、LEDやLaserを採用したプロジェクターにつきましても2010年に市場への投入が始まっており、製品のグリーン化を目的として各社ともに新光源採用製品の投入準備段階にあります。

2010年時点で短焦点や3D、LEDやLaser等、2010年時点で新要素技術を搭載したプロジェクターは市場全体の15.5%となりますが、2014年には28.6%へと拡大し、ユーザーの使用形態が今後大きく変わるものとTSRでは予測しております。

【Market Share by Technology : 2010e and 2014e】



(参考出展 : Key Devices for Projection Displays 2010)

[プレスリリースに関するお問い合わせ先]

株式会社 テクノ・システム・リサーチ

第2グループ

担当:木村 隼一 / 諸見里 依子

e-Mail: kimura@t-s-r.co.jp / moromizato@t-s-r.co.jp

電話: 03(3866)4505

Fax: 03(3866)8248